

## 会長挨拶



# 変革・挑戦するロータリー —時代とともに—

国際ロータリー第2520地区 2020-21年度築館ロータリークラブ  
会長 三浦和茂

今年度築館ロータリークラブ会長を拝命しました、三浦和茂と申します。入会5年足らずでの会長という事で不安ではありますが、皆さんに選出していただいた事に感謝をし、微力ながら精いっぱい活動させていただきたいと思っております。

今年初めから広がった新型コロナウイルスの世界的パンデミックは、未だ終息に至らず世界各地で猛威を振るい、日常生活はもとより政治、経済に深刻な打撃を与えています。当クラブにおいても2か月に亘り例会を休会し、社会奉仕活動においても中止を余儀なくされました。このような中でも私たちは知恵を出し合いこの危機を乗り越えなければなりません。

今年度ホルガー・クナーケRI会長のテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」であります。コロナ禍においても各々のクラブが柔軟に対応しこの危機を乗り越えていき、その時代や背景に合わせロータリーもチェンジ(変化)し続けなければと思います。私たちのあらゆる奉仕活動が、「どこかで、誰かのための機会の扉を開いていけるような活動」であることを強く想い、考え1年間活動して参ります。

今年度築館ロータリークラブでは例会の回数を例年の46例会から36例会にします。ただ単に減らすのではなく、質が高く、会員の皆さんが「機会の扉を開く」ことを体感出来るような例会を目指していきたいと思っております。併せて様々な奉仕活動(事業)においてもコロナ禍での安全面に最大限配慮した活動を行います。

また昨今、異常気象によって様々な災害が起きて

おりますが、そのような時にロータリーとしてのメリットを最大限生かし「何が出来るか」を考え、柔軟に素早く対応出来る体制を構築し、実行していきたいと思っております。

大きな不安の中でのスタートではありますが、ロータリー活動においても新しい運営を考え、会員の皆様にお力添えを頂きながらも楽しんで、困難を恐れず全てにおいて果敢にチャレンジ(挑戦)してまいります。

1年間どうぞよろしくお願いいたします。